



さちが丘小学校 学校だより

若竹

12月号

令和4年11月30日
横浜市立さちが丘小学校
校長 高浜 正太郎
TEL.361-0777 FAX.361-0787

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sachigaoka/>

地域の皆様から学ぶ

校長 高浜 正太郎

実りの秋を迎え、保護者の皆様にもご協力いただきながら、今年も2年生がサツマイモの収穫を無事終えることができました。地域にお住まいの新堀様より長らくお借りしている畑での栽培活動に取り組み、PTA会長の杉山様には畑の整備をお手伝いいただきました。

それ以外にも、今月は地域や関係機関の皆様方に本校の教育活動にご協力いただく機会がいくつかありましたので、紹介させていただきます。皆様方には心より感謝申し上げます。

4年生の総合的な学習では、さちが丘という地域を調べ、人々と関わりながら自分たちが住む町を体験的な活動を通して理解する学習を継続して進めています。

その学習の一環として、1・2組では、さちが丘第四公園の愛護会の皆様にご来校いただき、竹ぽっくりや竹灯籠などの竹細工を製作する学習の指導をしていただきました。太い立派な竹をのこぎりで切ったり穴をあけたりしながら、子どもたちは自分の作りたい物を熱心に製作していました。

また、3組では、自分たちの住む町のよさを伝えるVTR作成をするために、学校・地域コーディネーターの石塚様をお招きして、さちが丘の町のよさについて話していただきました。今後は、横浜ケーブルビジョンの方々にご来校いただき、VTR制作上のノウハウを教えていただく予定です。石塚様におかれましては、本年度も4年生各学級の体育の時間に、タグラグビーの指導もしていただきました。

5年生の総合的な学習の時間では、春から育ててきた稲作学習の一環として、お米マイスターの方をお招きして米の種類や精米の仕方、おいしいご飯の炊き方などをご指導いただきました。

その他、ゆめさち絵本箱の皆様には、今月より水曜日の朝の時間を利用して、学級ごとに読み聞かせをしていただいています。どの子も真剣な眼差しで話を聞いている様子がとても印象的でした。

このように地域の学習材や人材を活用した体験的な学習の導入は、子どもたちの学びをさらに深め、豊かにすることができます。学校と地域の連携に関わることなので、コーディネーターの石塚様とは、いかにして学校側のニーズと地域の人材や学習材を効果的につないでいくための話し合いを重ねているところです。

さらに、今月は天候にも恵まれ、遠足や社会科見学、区音楽会など校外での学習をすべて予定通り実施することができました。保護者の皆様には、お弁当や持ち物などの準備にご協力いただきまして、ありがとうございました。

明日より師走となりますが、「さち小マラソン大会」が12月6日(火)～8日(木)に予定されています。大会に向けて、子どもたちは休み時間を利用して意欲的に練習を積み重ねています。保護者の皆様にはぜひご来校いただき、温かいご声援を送っていただけたらと思います。校外委員の皆様をはじめ、ボランティアとしてご支援いただく保護者の皆様におかれましては、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。